

日時：2015年3月19日（木）13：30～14：00

場所：（市ヶ谷）九段校舎3階 第1会議室

（多摩）1号館（総合棟）4階 第3会議室C

（小金井）管理棟2階 会議室

出席：（市ヶ谷）施設部 相良課長、浅川課員、岩崎課員

事業室 中村課長、吉原課員

（株）エイチ・ユー 苅米氏

（多摩）多摩事務部 一ノ瀬課長、堀内課員

（株）エイチ・ユー 奥村氏、田中氏

（小金井）小金井事務部 倉林課長、三宅主任

（株）エイチ・ユー 村山氏

審議事項：

1. 2014年度特定温室効果ガス排出量予実比較について

配付資料は、『グリーンキャンパス創造計画書』で目標として定めている、「東京都総量削減義務に準じ、市ヶ谷・多摩キャンパスにおいて温室効果ガス基準排出量の8%削減」について、2014年度の達成状況を月別に示したもの。対上限量比が100%を超えると、削減目標が達成できていない状況を示す。なお、3月は参考値として昨年の数値を入れている。

- ①市ヶ谷 1月に排出上限量を超えているが、これは1月の排出上限量の設定値が他の月より低いことに起因する。エネルギー使用量は例年の1月と同程度であった。
年間トータルで、95.93%程度。目標達成できる見込み。
- ②多摩 年間トータルで、90.94%程度。目標達成できる見込み。
- ③小金井 年間トータルで、113.58%程度。目標達成は難しい見込みだが、「対前年度比」では97.71%となっており、削減はできている。

全体として、削減ができています。今年度までは東京都の削減義務が「基準排出量の8%削減」であったが、2015年度から第二計画期間（～2019年度まで）に入り、削減義務は「基準排出量の17%削減」になる。本学の目標もこれに合わせて変更し、これまで以上に厳しい目標となるため、各校地で対策を考え、削減を継続してほしい。

→（一ノ瀬課長）今年度多摩で大きく削減できた理由としては、空調機器等の設備更新を行ったためと考えられる。来年以降は運用側で何か対策を考える必要がある。

→（倉林課長）小金井では、設備担当者が1名張り付きで未使用教室の空調停止等を実施した結果、前年度比削減となった。

以上

環境センター	作成者
	